

四半期報告書

(第69期第1四半期)

自 平成25年4月1日
至 平成25年6月30日

リバーエレクトック株式会社

山梨県韮崎市富士見ヶ丘二丁目1番11号

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	2

第2 事業の状況

1 事業等のリスク	2
2 経営上の重要な契約等	2
3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	2

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

(1) 株式の総数等	3
(2) 新株予約権等の状況	3
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	4
(4) ライツプランの内容	4
(5) 発行済株式総数、資本金等の推移	4
(6) 大株主の状況	4
(7) 議決権の状況	4

2 役員の状況

4

第4 経理の状況

5

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10

2 その他

13

第二部 提出会社の保証会社等の情報

14

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月9日
【四半期会計期間】	第69期第1四半期（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）
【会社名】	リバーエレテック株式会社
【英訳名】	RIVER ELETEC CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 若尾 富士男
【本店の所在の場所】	山梨県韮崎市富士見ヶ丘二丁目1番11号
【電話番号】	（0551）22－1211（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務本部長 高保 譲治
【最寄りの連絡場所】	山梨県韮崎市富士見ヶ丘二丁目1番11号
【電話番号】	（0551）22－1211（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務本部長 高保 譲治
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第68期 第1四半期連結 累計期間	第69期 第1四半期連結 累計期間	第68期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高（千円）	1,537,249	1,499,469	6,208,501
経常利益（千円）	14,292	94,230	134,709
四半期（当期）純利益（千円）	10,668	91,719	112,142
四半期包括利益又は包括利益 （千円）	58,797	175,980	263,595
純資産額（千円）	2,934,703	3,293,367	3,132,129
総資産額（千円）	8,905,495	8,665,185	8,849,059
1株当たり四半期（当期）純利益金 額（円）	1.45	12.44	15.21
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	—	—	—
自己資本比率（％）	33.0	38.0	35.4
営業活動による キャッシュ・フロー（千円）	205,696	445,300	320,106
投資活動による キャッシュ・フロー（千円）	△56,728	114,684	△1,212,727
財務活動による キャッシュ・フロー（千円）	15,835	△529,603	861,353
現金及び現金同等物の四半期末（期 末）残高（千円）	879,113	766,304	705,701

- （注）1．当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2．売上高には、消費税等は含んでおりません。
- 3．潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
- 4．潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
- 5．四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や海外経済の緩やかな回復を受けて景気回復基調にありましたが、株価・為替といった金融指標の不安定な動きや新興国経済の成長鈍化傾向など、引き続き楽観視できない状況で推移しました。

当社グループの主要な市場であります水晶製品業界におきましては、受注の伸び悩みや平均販売価格の下落など、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、「超小型水晶デバイス」を軸にワールドワイドな営業展開を図るとともに生産効率の向上、固定費削減などトータルコスト削減を推進し、「高付加価値企業」の実現に向け、収益の確保に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高1,499,469千円（前年同期比2.5%減）、営業利益28,798千円（同99.7%増）、経常利益94,230千円（同559.3%増）、四半期純利益91,719千円（同759.7%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（水晶製品事業）

	前第1四半期連結累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	当第1四半期連結累計期間 自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	前年同期比
売上高	1,511,296千円	1,478,664千円	△2.2%
セグメント利益	12,817千円	90,494千円	606.0%

水晶製品の売上高は1,478,664千円（前年同期比2.2%減）となりました。スマートフォン向けは受注が好調であり、前年同期を上回りましたが、パソコン・周辺機器向けやデジタルカメラ向けの需要落ち込みの影響により減収となりました。セグメント利益は、受注数量の増加や原価削減効果に加え、円安による為替差益の発生もあり90,494千円（前年同期比606.0%増）となりました。

（その他の電子部品事業）

	前第1四半期連結累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	当第1四半期連結累計期間 自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	前年同期比
売上高	25,952千円	20,804千円	△19.8%
セグメント利益	1,474千円	3,735千円	153.3%

その他の電子部品の売上高は20,804千円（前年同期比19.8%減）となりました。抵抗器及びインダクタの事業縮小に伴い、受注数量が減少したことにより減収となりましたが、抵抗器事業における販売価格の上昇や原価低減により収益性が向上し、セグメント利益は3,735千円（前年同期比153.3%増）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ60,602千円増加し、766,304千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は445,300千円（前年同期は205,696千円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益94,178千円、減価償却費161,821千円、賞与引当金の増加75,063千円、売上債権の減少289,803千円、たな卸資産の増加229,819千円等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において投資活動の結果獲得した資金は114,684千円（前年同期は56,728千円の使用）となりました。これは主に定期預金の払戻による収入123,023千円、有形固定資産の取得による支出6,103千円等があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は529,603千円（前年同期は15,835千円の獲得）となりました。これは主に短期借入金の減少（純額）220,635千円、長期借入金の返済による支出259,483千円、長期未払金の返済による支出37,424千円等があったことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、47,021千円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数（株）
普通株式	21,600,000
計	21,600,000

②【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数（株） （平成25年6月30日）	提出日現在発行数（株） （平成25年8月9日）	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	7,492,652	7,492,652	東京証券取引所 JASDAQ （スタンダード）	単元株式数 100株
計	7,492,652	7,492,652	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	—	7,492,652	—	1,070,520	—	957,810

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	普通株式 121,100	—	—
完全議決権株式 (その他)	普通株式 7,370,200	73,702	—
単元未満株式	普通株式 1,352	—	—
発行済株式総数	7,492,652	—	—
総株主の議決権	—	73,702	—

② 【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数 (株)	他人名義所有 株式数 (株)	所有株式数の 合計 (株)	発行済株式総 数に対する所 有株式数の割 合 (%)
リバーエレクトック株式会社	山梨県韮崎市富士見ヶ 丘二丁目1番11号	121,100	—	121,100	1.62
計	—	121,100	—	121,100	1.62

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,382,842	1,341,516
受取手形及び売掛金	※ 1,696,688	※ 1,450,611
商品及び製品	377,933	581,481
仕掛品	388,420	410,127
原材料及び貯蔵品	735,602	764,792
繰延税金資産	2,384	12,750
その他	210,224	102,850
貸倒引当金	△6,380	△6,600
流動資産合計	4,787,716	4,657,528
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	483,658	488,646
機械装置及び運搬具（純額）	2,548,116	2,488,961
工具、器具及び備品（純額）	64,739	60,578
土地	415,429	415,429
リース資産（純額）	17,640	16,355
建設仮勘定	241,620	222,622
有形固定資産合計	3,771,204	3,692,593
無形固定資産		
ソフトウェア	3,387	3,693
その他	13,105	12,630
無形固定資産合計	16,492	16,324
投資その他の資産		
投資有価証券	142,269	162,059
破産更生債権等	74,500	78,750
その他	133,627	138,879
貸倒引当金	△76,750	△80,950
投資その他の資産合計	273,646	298,739
固定資産合計	4,061,343	4,007,656
資産合計	8,849,059	8,665,185

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成25年 6 月30 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	794,512	806,985
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
短期借入金	1,094,359	877,453
1年内返済予定の長期借入金	922,381	813,522
未払法人税等	12,628	14,373
賞与引当金	39,486	114,550
設備関係支払手形	75,961	77,307
その他	358,442	391,894
流動負債合計	3,337,772	3,136,086
固定負債		
社債	160,000	160,000
長期借入金	1,665,123	1,514,499
繰延税金負債	3,596	9,919
退職給付引当金	212,188	212,620
役員退職慰労引当金	97,650	99,710
長期未払金	227,891	227,568
その他	12,707	11,413
固定負債合計	2,379,157	2,235,730
負債合計	5,716,930	5,371,817
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,070,520	1,070,520
資本剰余金	957,810	957,810
利益剰余金	1,374,255	1,451,232
自己株式	△17,779	△17,779
株主資本合計	3,384,806	3,461,782
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,015	17,754
為替換算調整勘定	△258,692	△186,169
その他の包括利益累計額合計	△252,676	△168,415
純資産合計	3,132,129	3,293,367
負債純資産合計	8,849,059	8,665,185

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	1,537,249	1,499,469
売上原価	1,201,122	1,131,204
売上総利益	336,127	368,264
販売費及び一般管理費	321,703	339,466
営業利益	14,423	28,798
営業外収益		
受取利息	162	300
受取配当金	1,243	1,267
為替差益	2,082	73,504
その他	8,183	1,795
営業外収益合計	11,671	76,867
営業外費用		
支払利息	9,402	8,808
社債利息	—	211
その他	2,400	2,415
営業外費用合計	11,802	11,436
経常利益	14,292	94,230
特別損失		
固定資産売却損	—	51
固定資産除却損	9	—
退職特別加算金	125	—
特別損失合計	134	51
税金等調整前四半期純利益	14,157	94,178
法人税、住民税及び事業税	9,276	12,824
法人税等調整額	△5,787	△10,365
法人税等合計	3,488	2,458
少数株主損益調整前四半期純利益	10,668	91,719
四半期純利益	10,668	91,719

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	10,668	91,719
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26,776	11,738
為替換算調整勘定	74,905	72,522
その他の包括利益合計	48,128	84,261
四半期包括利益	58,797	175,980
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	58,797	175,980

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	14,157	94,178
減価償却費	128,504	161,821
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	178	△95
賞与引当金の増減額 (△は減少)	68,225	75,063
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,067	431
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△38,920	2,060
受取利息及び受取配当金	△1,406	△1,568
支払利息	9,402	9,020
為替差損益 (△は益)	41	△22
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	51
有形固定資産除却損	9	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△76,265	289,803
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△86,018	△229,819
仕入債務の増減額 (△は減少)	7,390	△66,524
未収入金の増減額 (△は増加)	17,957	8,831
未払金の増減額 (△は減少)	45,702	△12,788
その他	124,837	132,243
小計	218,865	462,688
利息及び配当金の受取額	1,379	1,726
利息の支払額	△8,479	△8,057
法人税等の支払額	△6,068	△11,056
営業活動によるキャッシュ・フロー	205,696	445,300
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△410	—
定期預金の払戻による収入	—	123,023
有形固定資産の取得による支出	△55,079	△6,103
有形固定資産の売却による収入	—	1
無形固定資産の取得による支出	—	△226
投資有価証券の取得による支出	△1,662	△1,730
その他	424	△282
投資活動によるキャッシュ・フロー	△56,728	114,684
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	215,620	△220,635
長期借入れによる収入	268	—
長期借入金の返済による支出	△184,391	△259,483
長期末払金の返済による支出	—	△37,424
自己株式の取得による支出	△13	—
配当金の支払額	△14,743	△10,628
リース債務の返済による支出	△905	△1,431
財務活動によるキャッシュ・フロー	15,835	△529,603
現金及び現金同等物に係る換算差額	23,763	30,221
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	188,566	60,602
現金及び現金同等物の期首残高	690,546	705,701
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 879,113	※ 766,304

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

※ 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形の金額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	3,766千円	7,696千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
現金及び預金勘定	1,540,749千円	1,341,516千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△661,636	△575,211
現金及び現金同等物	879,113	766,304

(株主資本等関係)

I 前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

配当金支払額

(決 議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	14,743千円	2円	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

II 当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

配当金支払額

(決 議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	14,743千円	2円	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	水晶製品	その他の電子部品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,511,296	25,952	1,537,249	1,537,249
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,511,296	25,952	1,537,249	1,537,249
セグメント利益	12,817	1,474	14,292	14,292

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	14,292
四半期連結損益計算書の経常利益	14,292

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	水晶製品	その他の電子部品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,478,664	20,804	1,499,469	1,499,469
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,478,664	20,804	1,499,469	1,499,469
セグメント利益	90,494	3,735	94,230	94,230

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	94,230
四半期連結損益計算書の経常利益	94,230

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
1 株当たり四半期純利益金額	1円45銭	12円44銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	10,668	91,719
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	10,668	91,719
普通株式の期中平均株式数 (株)	7,371,547	7,371,504

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月9日

リバーエレテック株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岩渕 道男 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 諏訪部 修 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 天野 清彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているリバーエレテック株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、リバーエレテック株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- （注） 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月9日
【会社名】	リバーエレテック株式会社
【英訳名】	RIVER ELETEC CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 若尾 富士男
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	山梨県韮崎市富士見ヶ丘二丁目1番11号
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役若尾富士男は、当社の第69期第1四半期（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。